

岐阜盲ろう者友の会



「盲ろう者」とは

「盲ろう者」とは、視覚と聴覚の両方に障害を持つ人のことです。

盲ろう者にとって困難なこと

- (1) 他の人との会話
- (2) 周囲の状況の把握
- (3) 外出・移動

こうした困難に立ち向かうためには「通訳・介助者」が不可欠です。



盲ろう者を交えた交流会
手話通訳もします



手話を触って確認しながら会話

「通訳・介助者」とは

「通訳・介助者」とは、

- (1) 他の人との会話を助け、
 - (2) 周囲の状況を知らせ、
 - (3) 移動のガイドをし、
- 盲ろう者をサポートする人のことです。

手話、点字、手書き文字、筆談等さまざまな方法を使って盲ろう者とコミュニケーションを行います。



盲ろう者に手話で通訳



歩くときは盲ろう者をガイド

岐阜盲ろう者友の会

盲ろう者の自立と社会参加の促進を目的とする会です。

＜友の会の主な活動内容＞

- ・交流会・各種学習会の開催
- ・ひとりぼっちの盲ろう者をなくすための情報提供・訪問相談・援助
- ・通訳・介助者の養成・派遣
- ・機関紙「やさい畑だより」の発行



研修会を開催

「やさい畑」とは？

いろいろなやさいが育まれるやさい畑のように、いろいろな人が集まって、盲ろう者を取り巻く環境を豊かにすれば、やがて誰もが住みよい「人間らしい社会作りができる。そんな思いを込めて「やさい畑」という愛称をつけました。

●●● 通訳介助者を募集中です ●●●

通訳・介助者として活動して下さる方を求めています。手話や点字など難しいことができなくても大丈夫です。どうかよろしくお願ひします。

